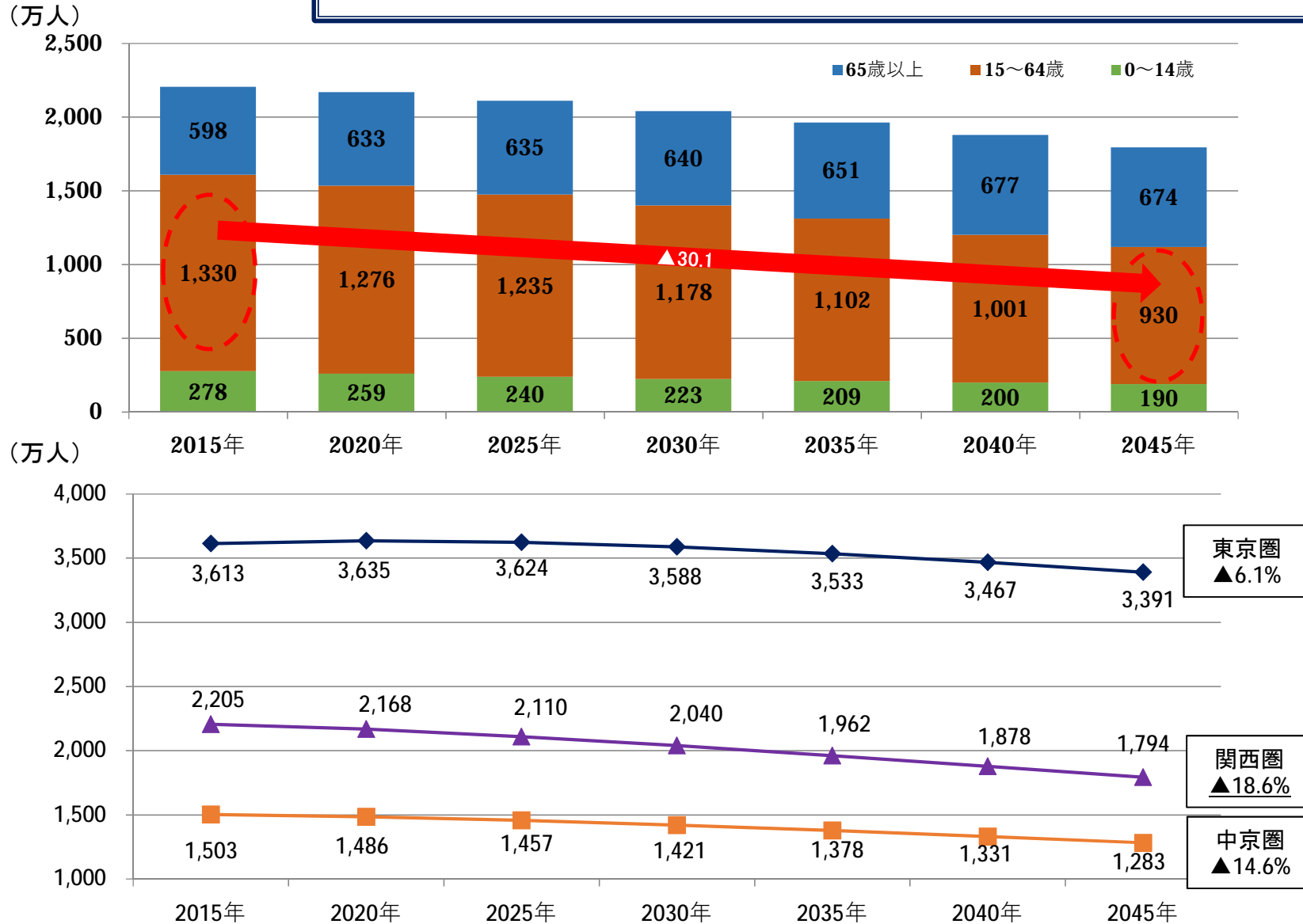


関西圏の現状と課題 <人材>

# 大阪・関西の現状と課題 <人材>

## ■ 関西圏の人口将来推計

◇ 関西圏の総人口は2045年に1,794万人となる見込み（2015年比▲18.6%）であり、他の都市圏に比べて減少率が大い。（なお、15～64歳の労働力人口は▲30.1%）



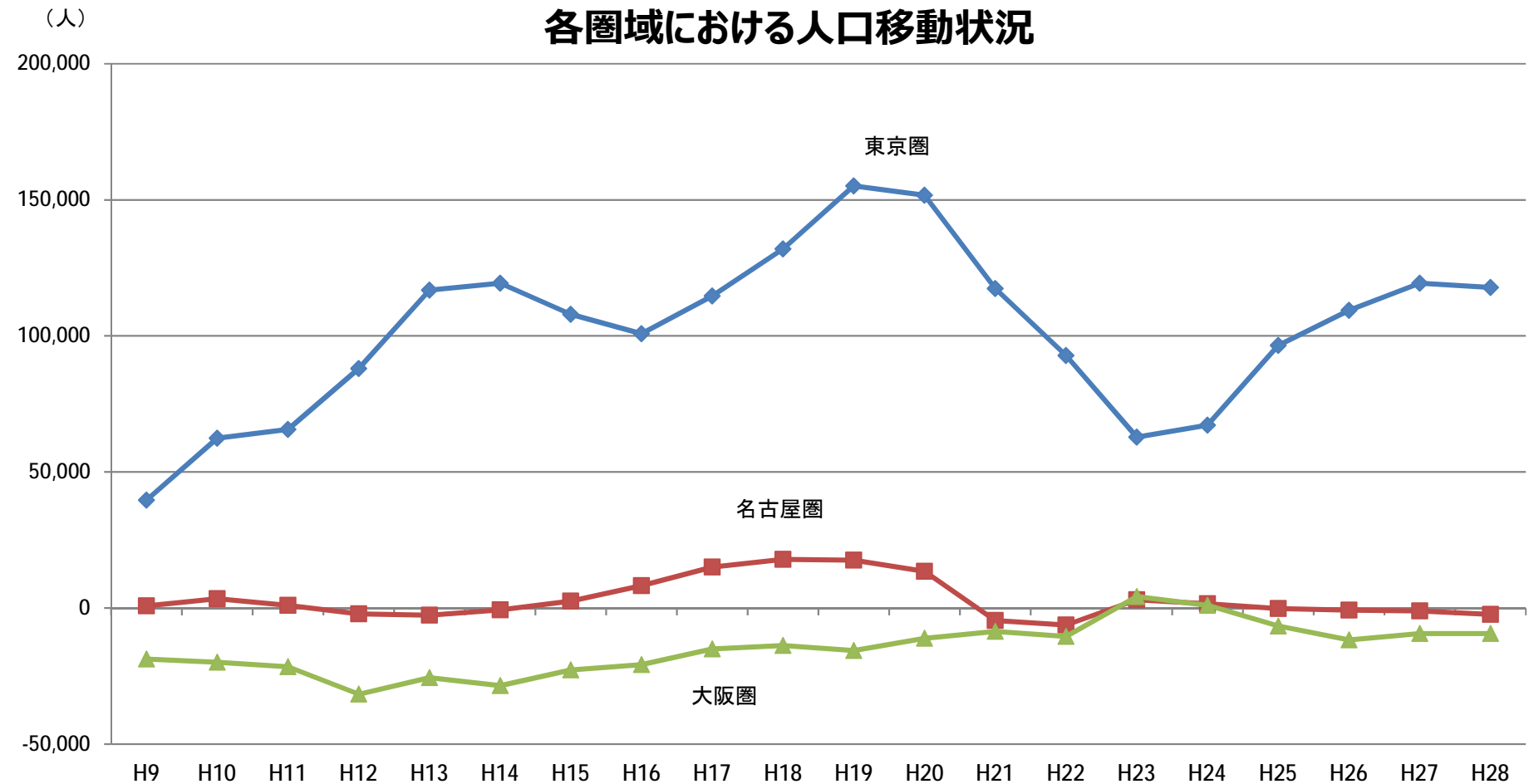
出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（平成30年3月推計）

# 大阪・関西の現状と課題 <人材>

## ■ 転出入

◇大阪圏では転出超過傾向が続いており、東京圏では転入超過傾向が続いている。

### 各圏域における人口移動状況



	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
東京圏	39,665	62,413	65,683	87,995	116,833	119,375	107,941	100,862	114,688	132,033	155,150	151,696	117,461	92,829	62,809	67,209	96,524	109,408	119,357	117,868
名古屋圏	769	3,447	1,017	-2,141	-2,596	-647	2,530	8,194	15,012	17,874	17,554	13,525	-4,537	-6,242	3,060	1,567	-147	-803	-1,090	-2,363
大阪圏	-18,788	-19,914	-21,557	-31,652	-25,621	-28,481	-22,742	-20,777	-15,022	-13,727	-15,646	-11,143	-8,555	-10,450	4,209	977	-6,591	-11,722	-9,354	-9,335

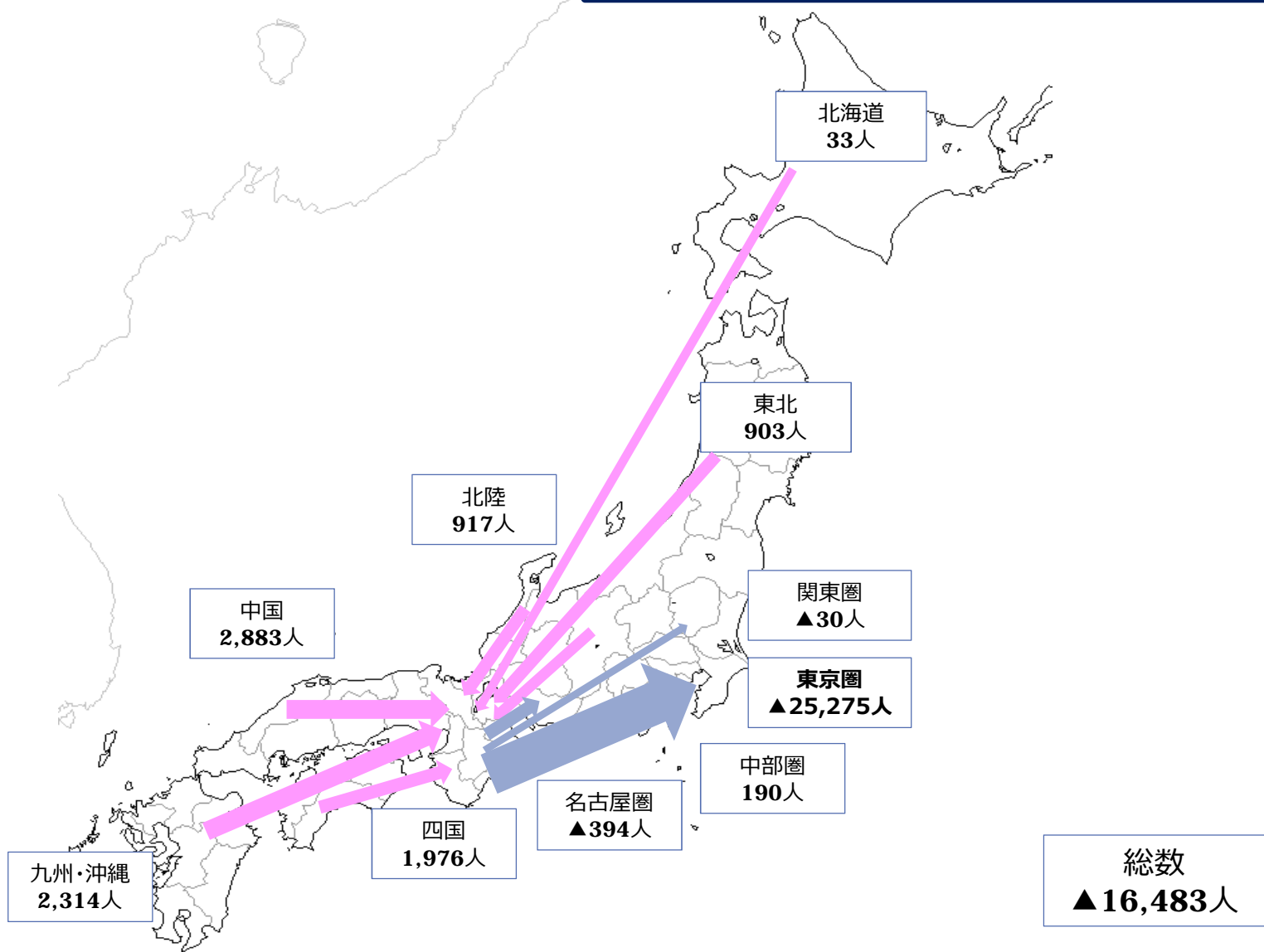
※名古屋圏：岐阜県、愛知県、三重県 大阪圏：京都府、大阪府、兵庫県、奈良県

出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

# 大阪・関西の現状と課題 <人材>

## ■ 関西圏から見た圏域別転出入状況（2017年）

◇ 東京圏への転出超過が顕著。西日本からは転入超過



※名古屋圏：岐阜県、愛知県、三重県 関東圏：茨城県、栃木県、群馬県 中部圏：山梨県、長野県、静岡県  
北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県 中国：島根県、岡山県、広島県、山口県 四国：香川県、愛媛県、高知県

出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

# 大阪・関西の現状と課題 <人材>

## ■ 転出入

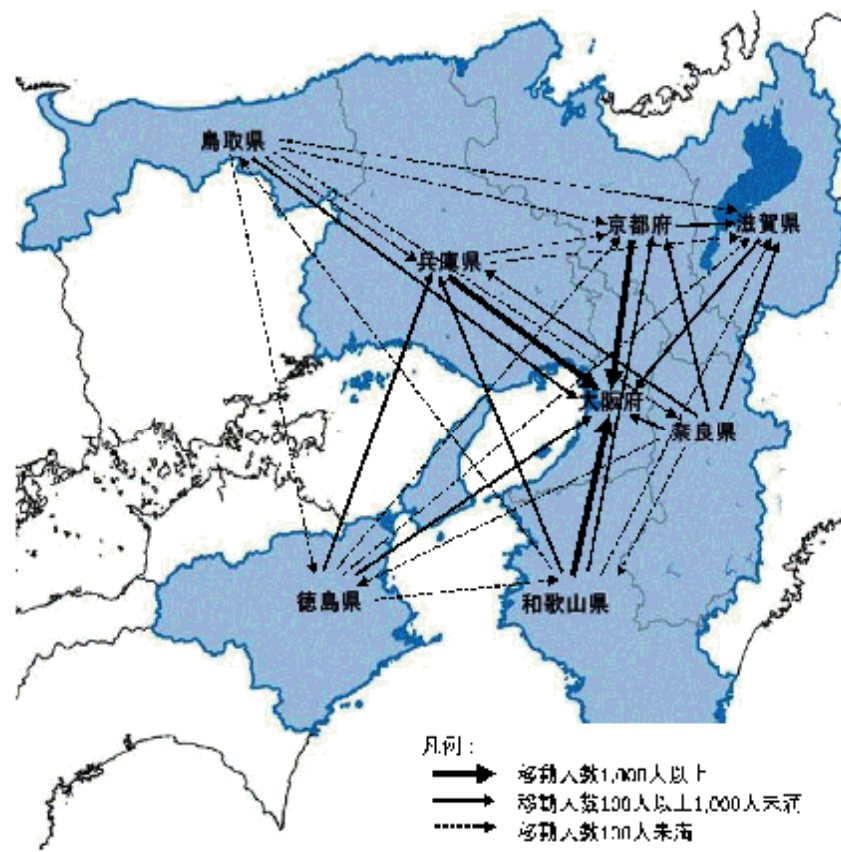
◇ 関西圏域内では、大阪への人口移動が顕著となっている（転入超過は大阪府と滋賀県のみ）

### 関西圏域内における人口移動状況（2017年）

【期間：2017年1月～12月】 (単位：人)

	転出先								転出合計 (一位転入超過)
	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	徳島県	
滋賀県	-	-451	513	-2	-100	-95	-33	-43	-221
京都府	451	-	2,050	-91	-857	-179	-55	-40	1,279
大阪府	113	2,050	-	1,791	424	1,548	71	419	6,956
兵庫県	12	91	1,791	-	-287	-205	-43	-182	1,037
奈良県	100	357	424	287	-	11	-19	9	1,649
和歌山県	95	179	1,548	295	-31	-	19	-21	2,244
鳥取県	33	55	71	43	19	19	-	37	339
徳島県	43	40	49	182	-2	21	-37	-	650
転入合計(一位転出超過)	221	-1,279	6,956	-1,037	-1,649	-2,244	-339	-650	

※ 府県別に、前の数字はどのくらい転入してきたか、後の数字はどのくらい転出したかを示している。



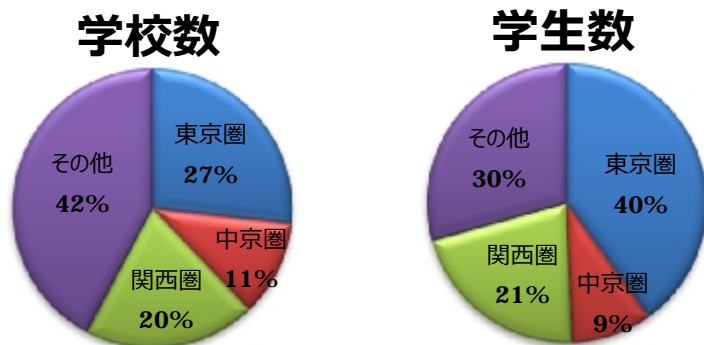
出典：関西広域連合資料  
 (総務省「住民基本台帳人口移動報告」より作成)

# 大阪・関西の現状と課題 <人材>

## ■ 学校数・学生数（大学・大学院・短大）

	学校数	学生数	人口
全 国	1,117	3,014,829	127,907,086
東京圏	299	1,206,672	36,312,851
中京圏	124	281,851	15,197,115
関西圏	222	639,948	22,161,999
その他	472	886,358	54,235,121

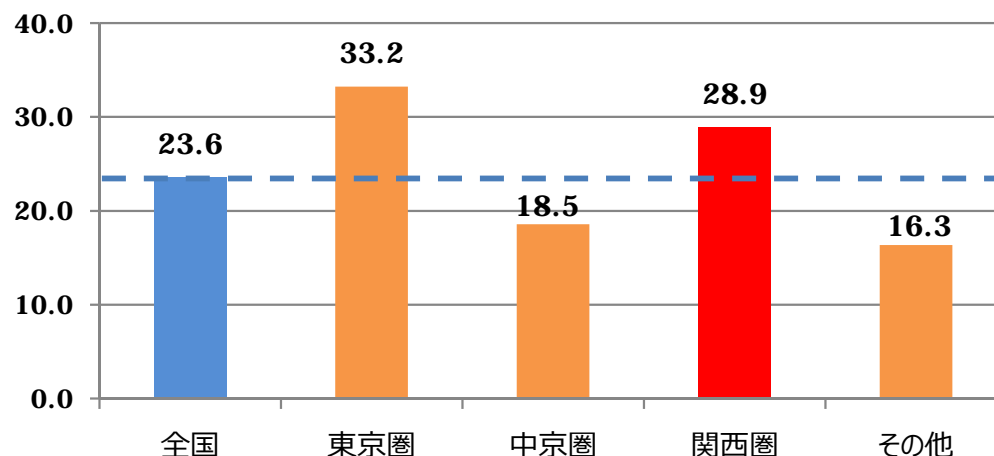
※学校数および学生数については、大学、大学院、短大を対象



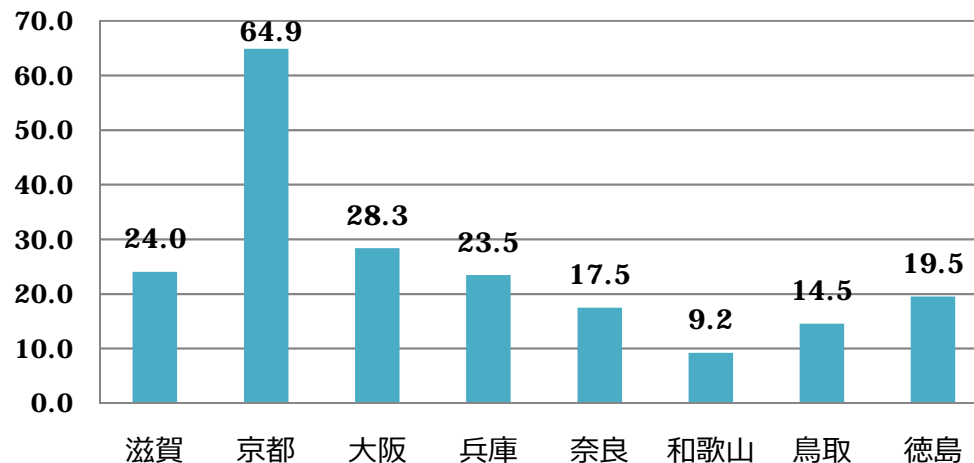
	学校数	学生数	人口
滋 賀	11	34,126	1,420,260
京 都	47	166,678	2,569,410
大 阪	80	251,218	8,861,437
兵 庫	54	131,489	5,606,545
奈 良	15	24,122	1,380,181
和歌山	4	9,046	984,689
鳥 取	4	8,364	575,264
徳 島	7	14,905	764,213

◇学校数の分布に比べて、学生数は東京圏に集中している。なお、人口千人あたりの学生数では関西圏は全国平均を上回っている。  
◇人口あたりの学生数は、関西圏では京都府が突出している。

### 人口千人あたり学生数



### 人口千人あたり学生数（関西各府県）



※出典：文部科学省「学校基本調査」（平成29年5月1日現在）、総務省「住民基本台帳に基づく人口」（平成29年1月1日現在）

# 大阪・関西の現状と課題 <人材>

## ■ 大学卒業者の地元残留率

◇京阪神、近畿あわせて地元就職する学生の割合は約5割。3割程度が首都圏に。一方で、首都圏の学生は9割近くが首都圏に就職。東海も7割以上が地元就職。

## 2018年卒業者の大学キャンパス所在地から見た地域別の就職先分布

大学キャンパス所在地	サンプル数	就職先 (%)											
		北海道	東北	北関東	首都圏	北陸・甲信越	東海	京阪神	近畿	中国	四国	九州	海外
北海道	88	55.7	-	2.3	31.8	1.1	4.5	2.3	1.1	1.1	-	-	-
東北	179	3.9	55.9	3.4	26.3	2.8	2.8	2.8	0.6	0.6	1.1	-	-
北関東	73	2.7	4.1	34.2	43.8	4.1	5.5	1.4	-	-	1.4	2.7	-
首都圏	880	0.7	1.0	2.6	85.6	2.2	3.1	3.0	-	0.8	0.3	0.6	0.2
北陸・甲信越	164	0.6	0.6	1.8	20.7	61.6	10.4	2.4	1.2	0.6	-	-	-
東海	405	-	0.5	0.5	16.3	1.5	74.8	4.4	0.2	-	0.2	1.5	-
京阪神	625	0.5	0.5	0.3	34.1	1.6	4.8	50.6	2.7	1.4	1.8	1.6	0.2
近畿	85	-	-	2.4	24.7	1.2	15.3	41.2	8.2	1.2	4.7	1.2	-
中国	155	0.6	0.6	-	14.8	0.6	2.6	9.7	1.3	52.3	7.7	9.7	-
四国	79	-	3.8	-	21.5	1.3	2.5	11.4	1.3	12.7	41.8	3.8	-
九州	255	1.2	-	-	26.3	0.4	1.2	4.7	-	2.4	-	63.9	-

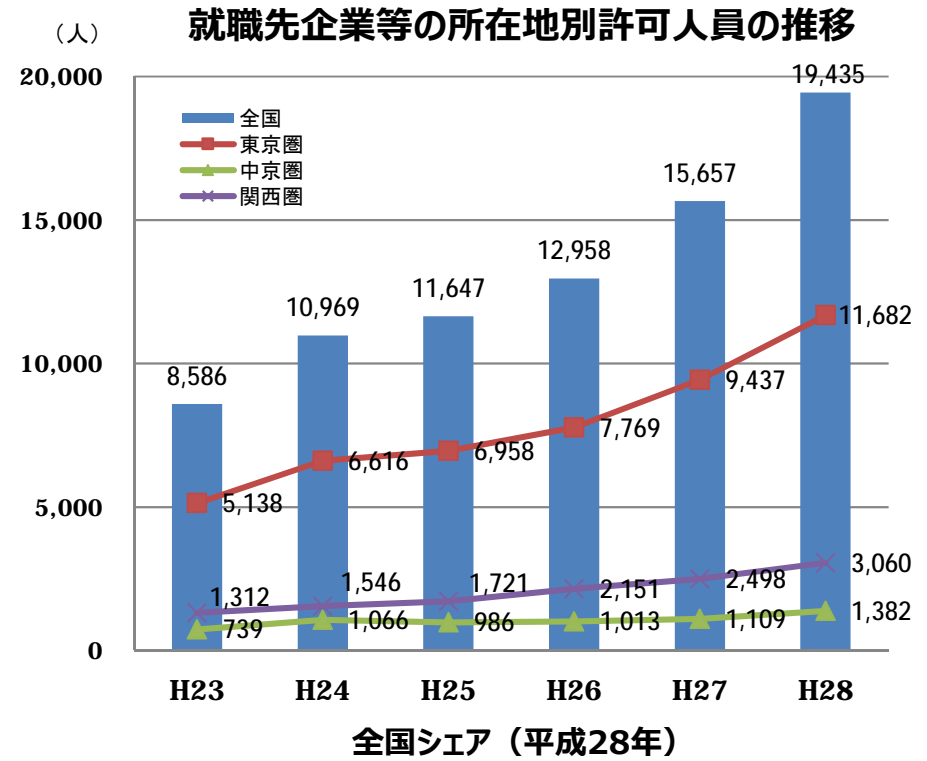
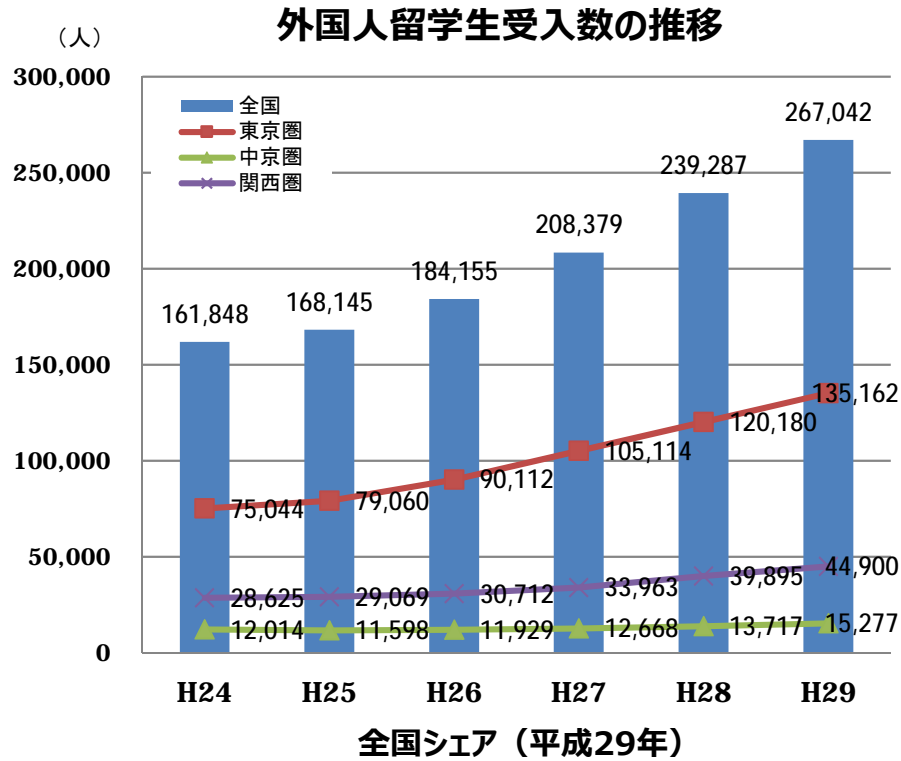
出典：リクルートキャリア 就職みらい研究所「大学生の地域間移動に関するレポート2018」

首都圏は「東京圏」、東海は「中京圏」と同一地域。京阪神は京都、大阪、兵庫。近畿は滋賀、奈良、和歌山。

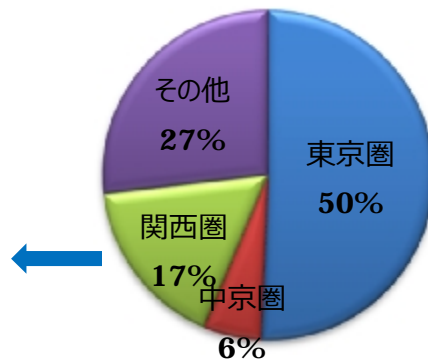
# 大阪・関西の現状と課題 <人材>

## ■ 留学生の受入れ・就職

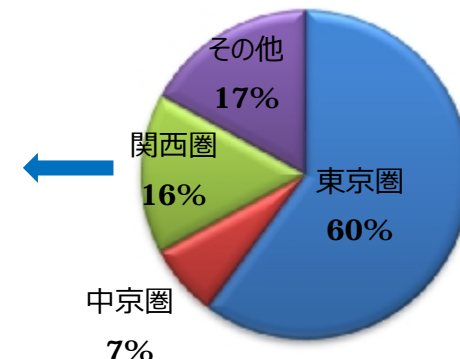
◇東京圏が留学生の受入数では全国の5割、就職先では6割を占める。  
(関西圏は約16%)



滋賀	433
京都	11,219
大阪	21,683
兵庫	9,398
奈良	1,216
和歌山	369
鳥取	207
徳島	375



滋賀	52
京都	450
大阪	1,989
兵庫	461
奈良	65
和歌山	21
鳥取	12
徳島	10



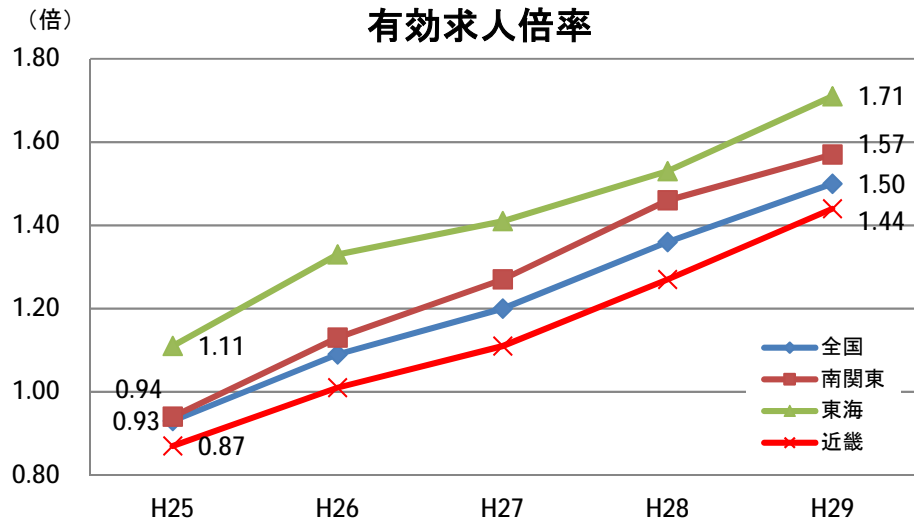
※出典：日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査結果」(毎年5月1日現在)

※出典：法務省入国管理局「平成28年における留学生の日本企業等への就職状況について」

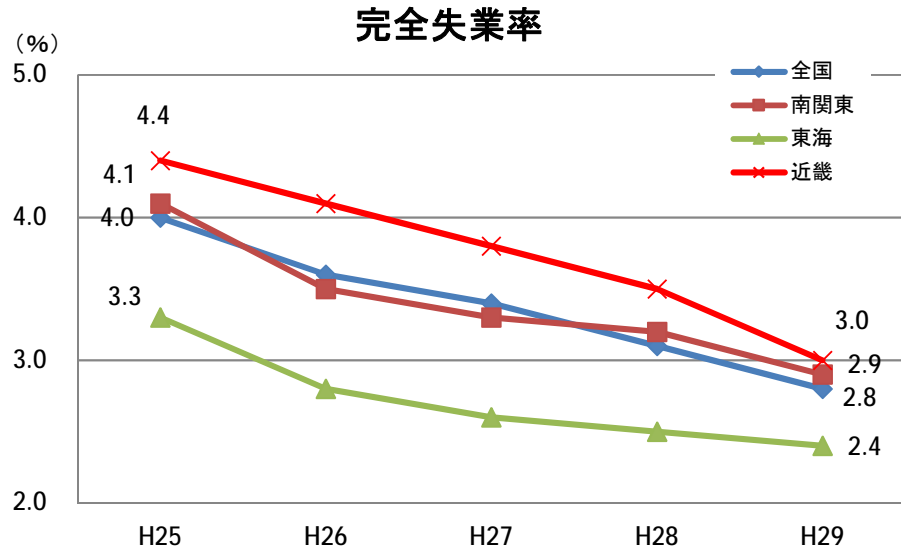


# 大阪・関西の現状と課題 <人材>

## ■ 関西の雇用



出典：厚生労働省「職業安定業務統計」  
南関東は「東京圏」、東海は「中京圏」と同一地域。近畿は「関西圏」から鳥取、徳島を除く地域



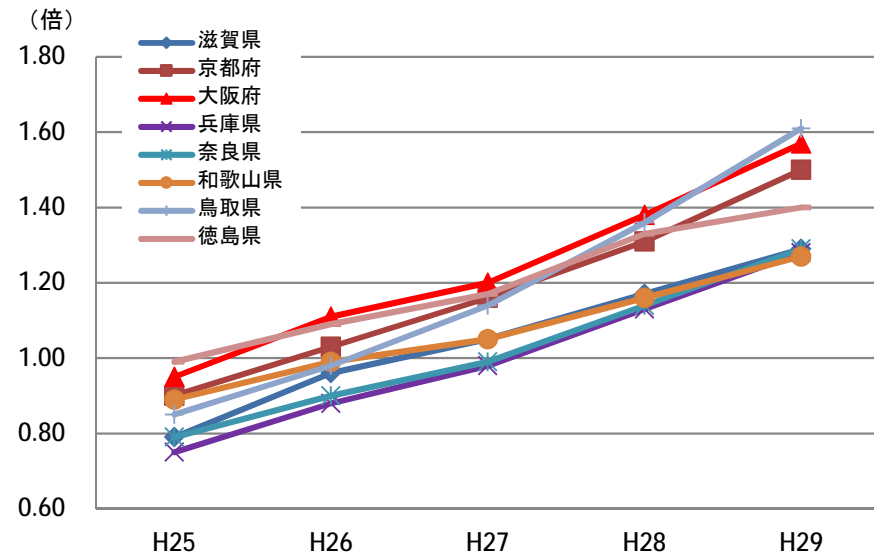
出典：総務省「労働力調査」  
南関東は「東京圏」、東海は「中京圏」と同一地域。近畿は「関西圏」から鳥取、徳島を除く地域

◇有効求人倍率、完全失業率ともに改善傾向にあるが、東京圏や中京圏、全国を下回っている

## 府県別有効求人倍率 (関西圏)

(単位：倍)

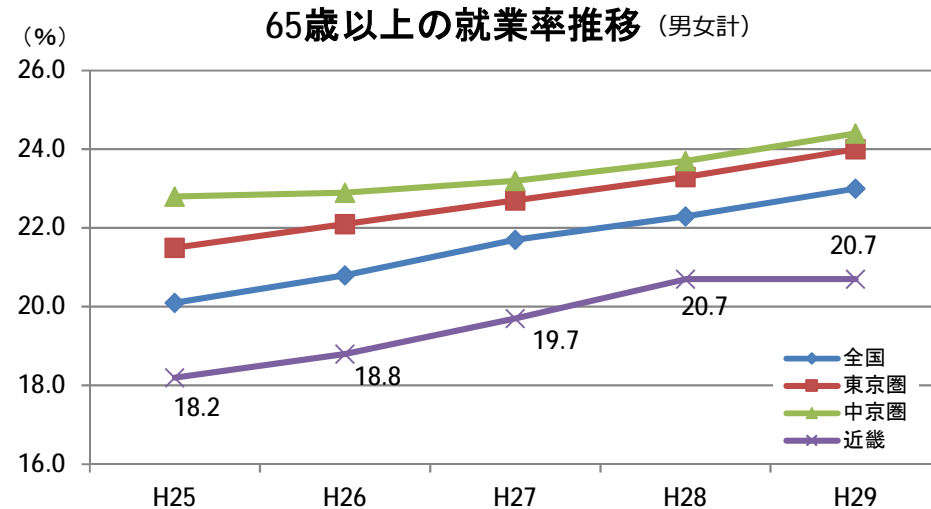
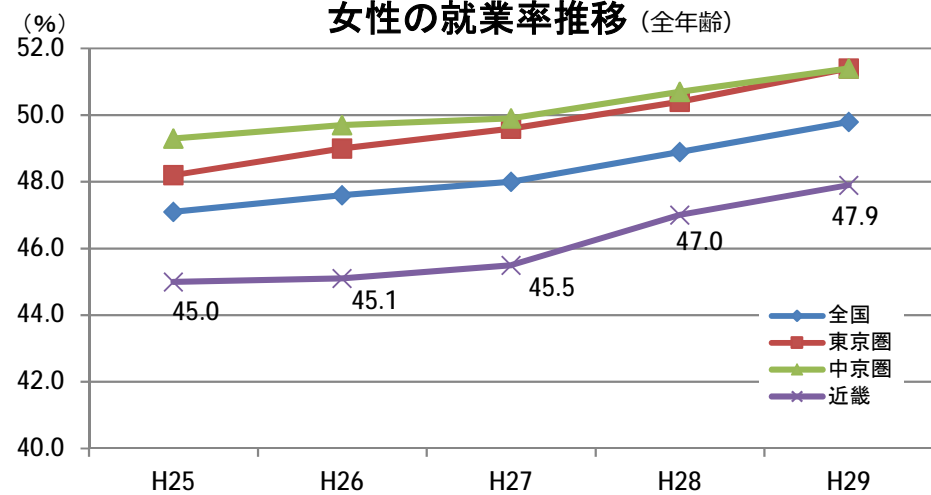
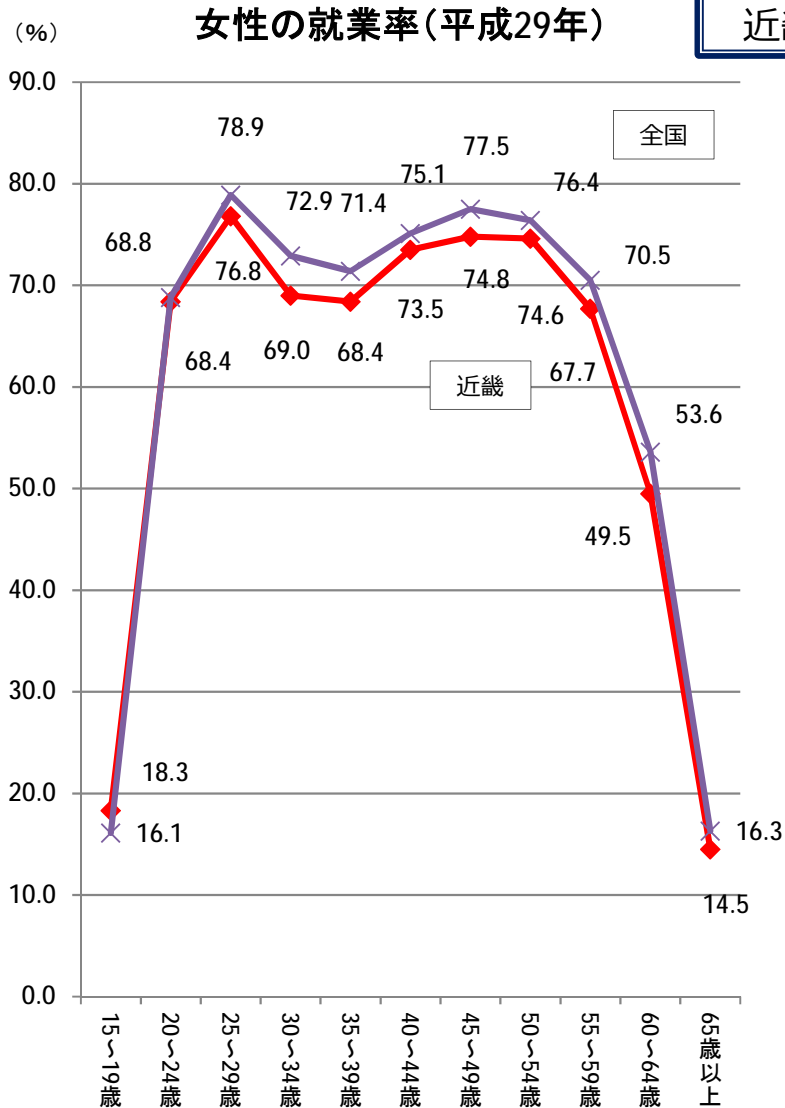
	H25	H26	H27	H28	H29
滋賀県	0.79	0.96	1.05	1.17	1.29
京都府	0.90	1.03	1.16	1.31	1.50
大阪府	0.95	1.11	1.20	1.38	1.57
兵庫県	0.75	0.88	0.98	1.13	1.28
奈良県	0.79	0.90	0.99	1.14	1.29
和歌山県	0.89	0.99	1.05	1.16	1.27
鳥取県	0.85	0.98	1.14	1.36	1.61
徳島県	0.99	1.09	1.17	1.33	1.40



# 大阪・関西の現状と課題 <人材>

## ■ 女性・高齢者の就業

- ◇女性の就業率については、近畿は全国に比べてM字カーブの谷が深く、40歳台以降の回復の幅も低い傾向。
- ◇女性の就業率、65歳以上の就業率ともに近年上昇傾向にあるが、近畿は全国、東京圏、中京圏に比べて低い。



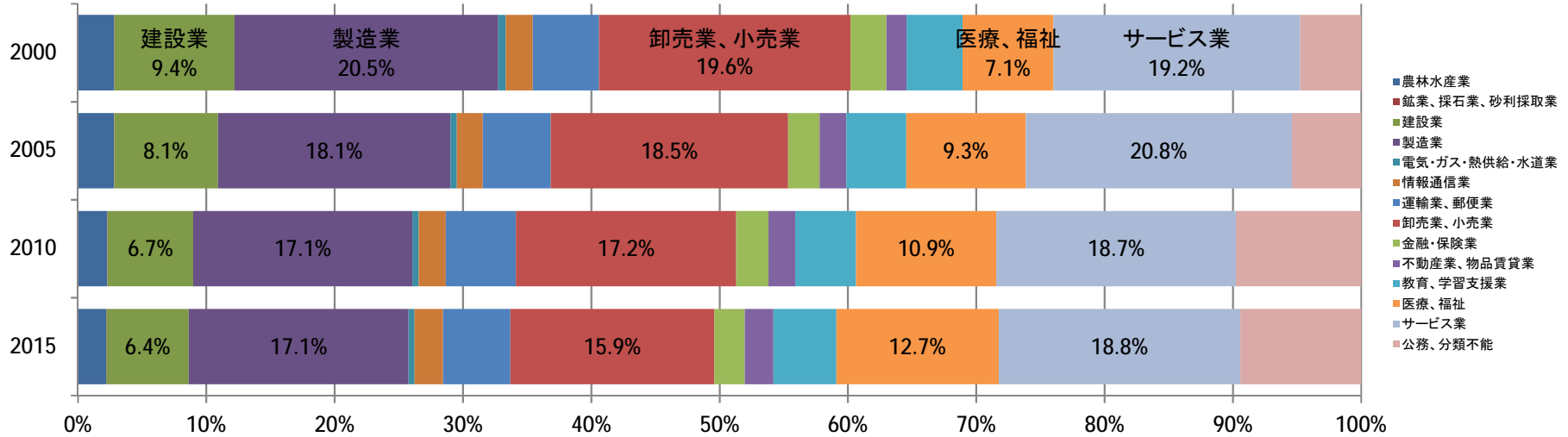
出典：総務省「労働力調査」 近畿は「関西圏」から鳥取、徳島を除いた地域

# 大阪・関西の現状と課題 <人材>

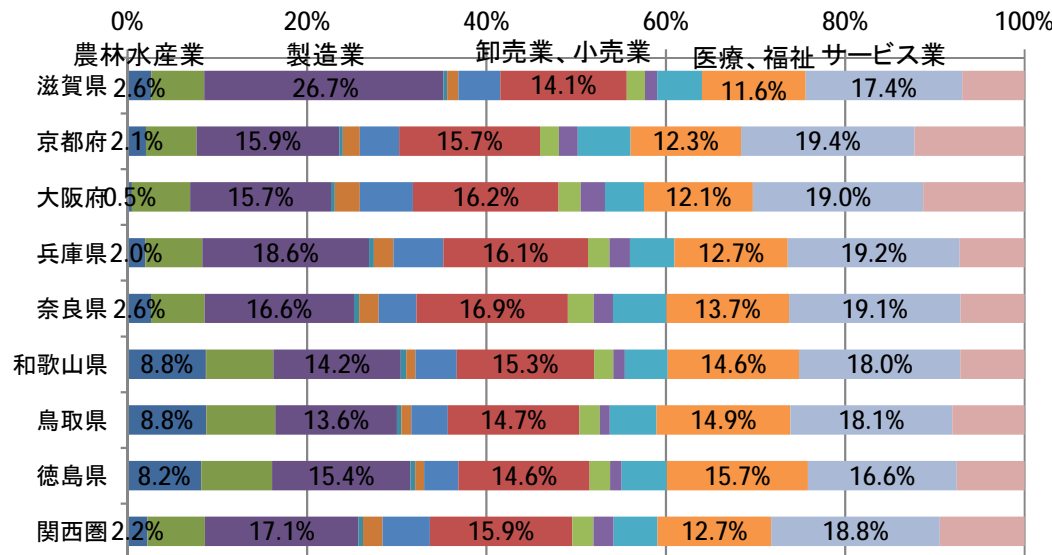
## ■ 関西圏の産業別就業者

◇ 2000年～2015年の関西圏の産業別就業者をみると、製造業、建設業、卸売業、小売業の就業者が減少傾向である一方、医療、福祉の就業者が増加傾向。

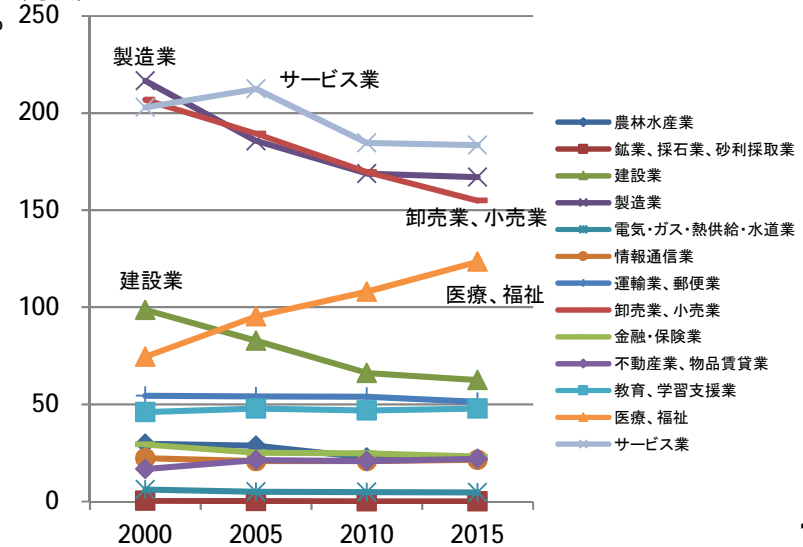
### 関西圏における産業別就業者比率推移



### 関西各府県の産業別従業者比率(2015年)



### 関西圏の産業別就業者数推移 (万人)

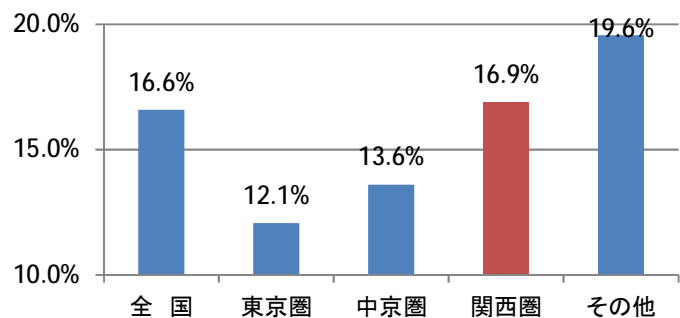


# 大阪・関西の現状と課題 <人材>

## ■ 人材不足の状況

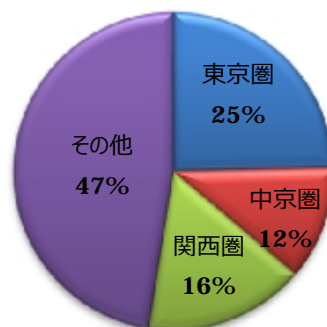
	新規求人数	充足数	充足率
全国	6,572,147	1,090,099	16.6%
東京圏	1,619,651	195,372	12.1%
中京圏	757,807	102,995	13.6%
関西圏	1,071,697	181,126	16.9%
その他	3,122,992	610,606	19.6%

※充足率 = 充足数 ÷ 新規求人数



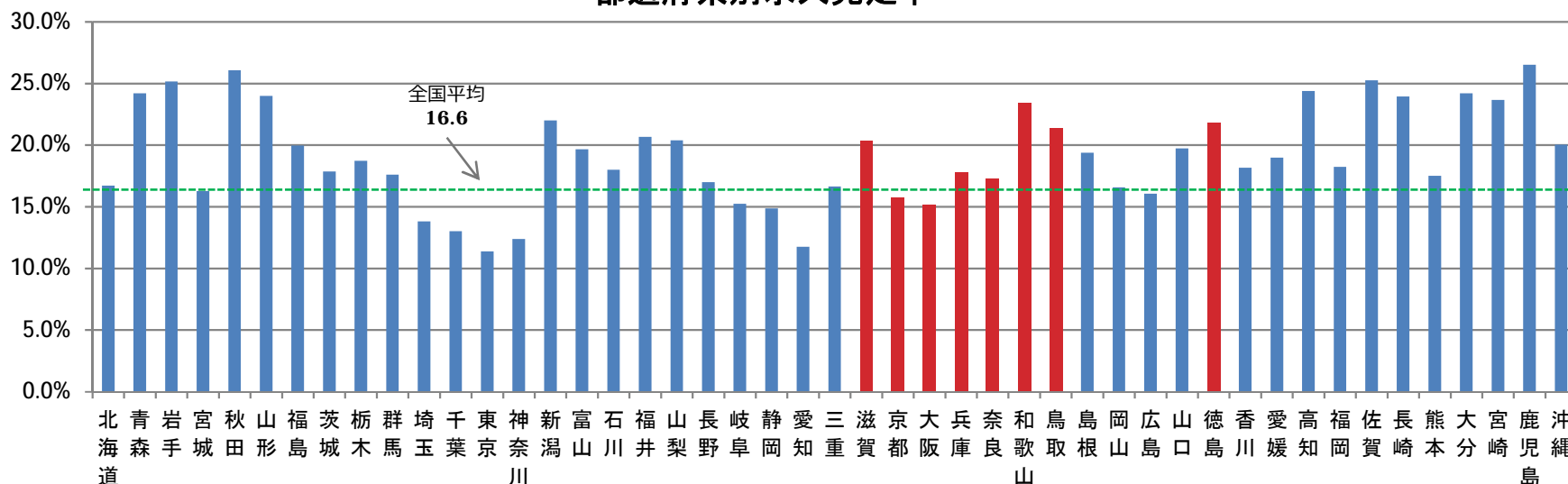
◇ 求人充足率で見ると、関西圏は全国平均とほぼ同じレベル。  
東京圏や中京圏は全国平均よりも3～4ポイント低くなっている。  
◇ 関西圏では、大阪と京都が全国平均よりも1～2ポイント程度低くなっている。

## 新規求人数全国シェア



	新規求人数	充足数	充足率
滋賀	62,173	12,630	20.3%
京都	132,549	20,884	15.8%
大阪	499,156	75,551	15.1%
兵庫	213,087	37,977	17.8%
奈良	49,627	8,561	17.3%
和歌山	37,408	8,755	23.4%
鳥取	37,514	8,010	21.4%
徳島	40,183	8,758	21.8%

## 都道府県別求人充足率

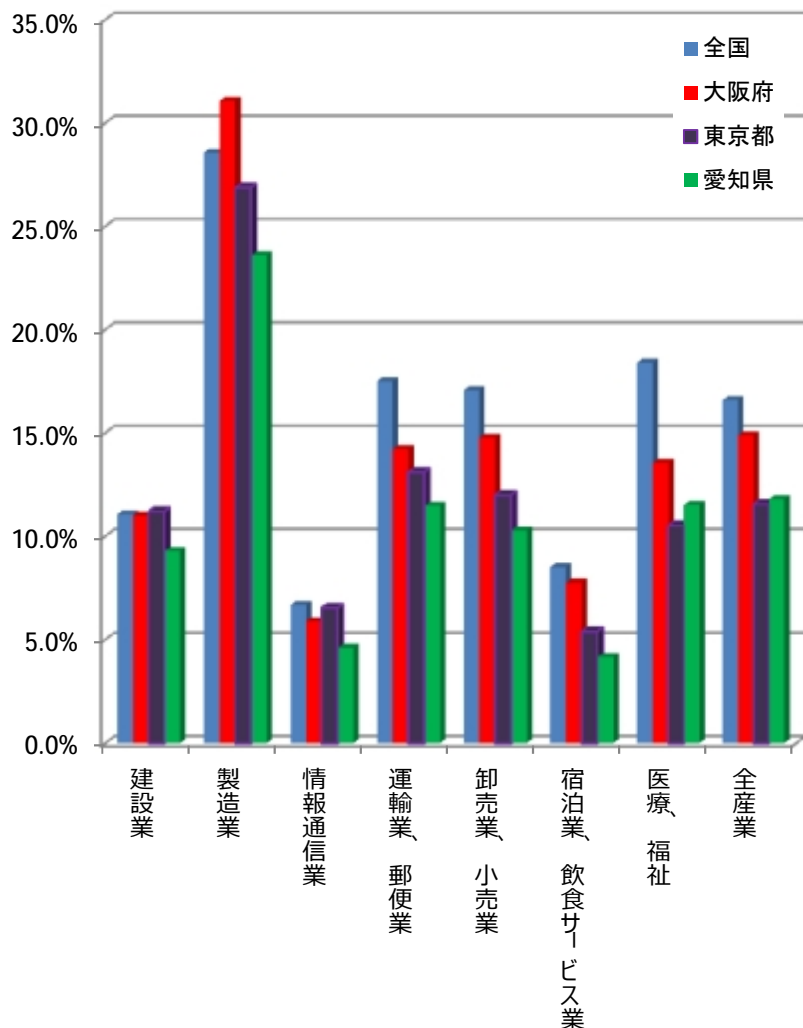


# 大阪・関西の現状と課題 <人材>

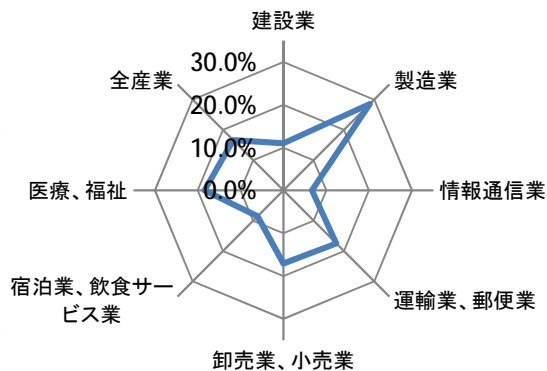
## ■ 人材不足の状況

◇業種別で見ると、全国、大阪、東京、愛知ともほぼ同様の傾向がみられる。特に充足率が低いのは、情報通信業、宿泊業、飲食サービス業。

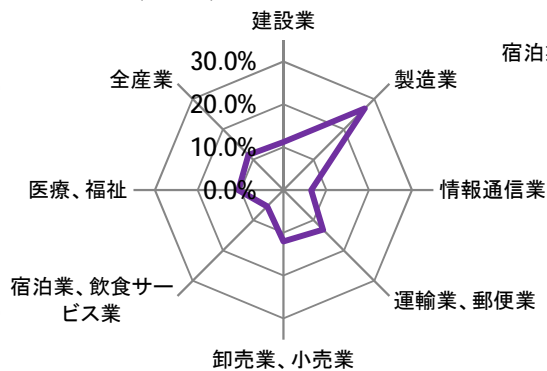
主な分野別求人充足率  
(平成28年度)



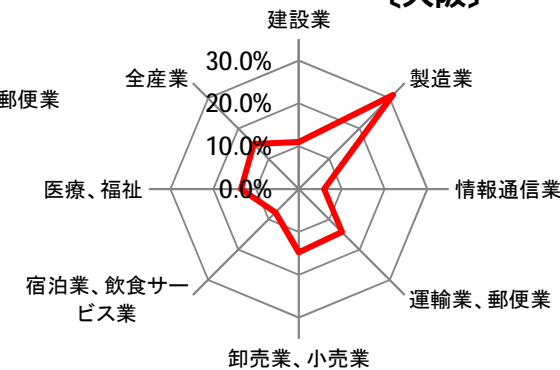
〔全国〕



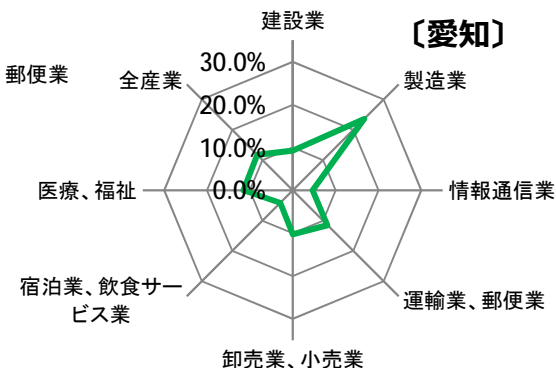
〔東京〕



〔大阪〕



〔愛知〕



出典：厚生労働省「労働市場年報〔平成28年度〕」、大阪労働局「平成28年度統計年報」、東京労働局「平成28年度職業安定業務年報」、愛知労働局「年報（職業安定部編）平成28年度版」

# 大阪・関西の現状と課題 <人材>

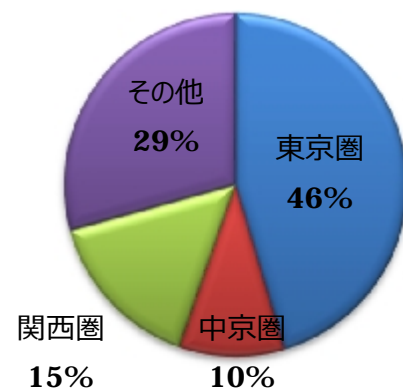
## ■ソフトウェア業の従事者数・売上高

	事業所数	業務従事者数 (人)	年間売上高 (百万円)
全国	22,531	608,378	10,563,432
東京圏	10,230	366,101	7,199,241
中京圏	2,234	46,212	696,177
関西圏	3,464	79,043	1,192,054
その他	6,603	117,022	1,475,960

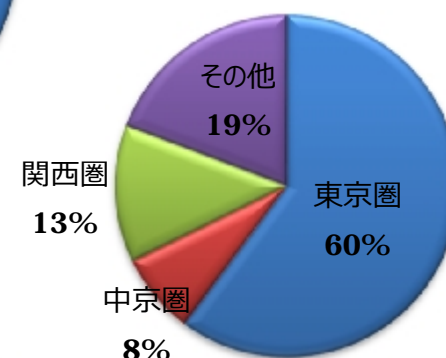
◇ I T系産業であるソフトウェア業についてみると、圧倒的に東京圏に集中。I T産業の従事者も東京圏に集中していることがわかる。(事業所ベースで全国の**46%**、業務従事者ベースで全国の**60%**、年間売上高ベースで全国の**68%**) 関西圏では大阪に約**75%**が集中。

【全国シェア】

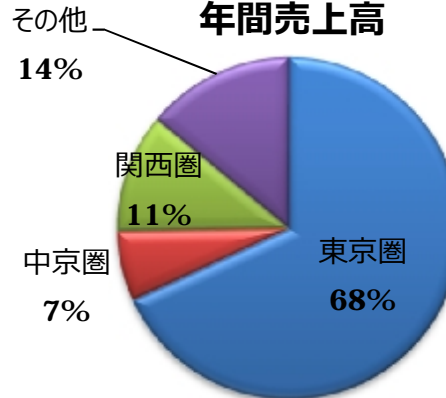
事業所数



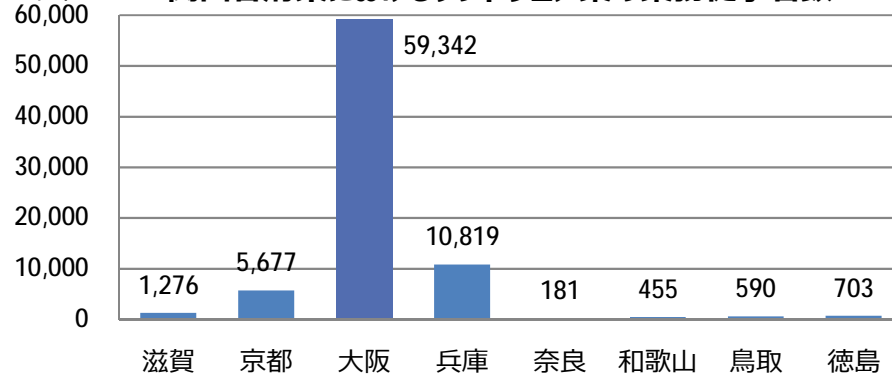
業務従事者数



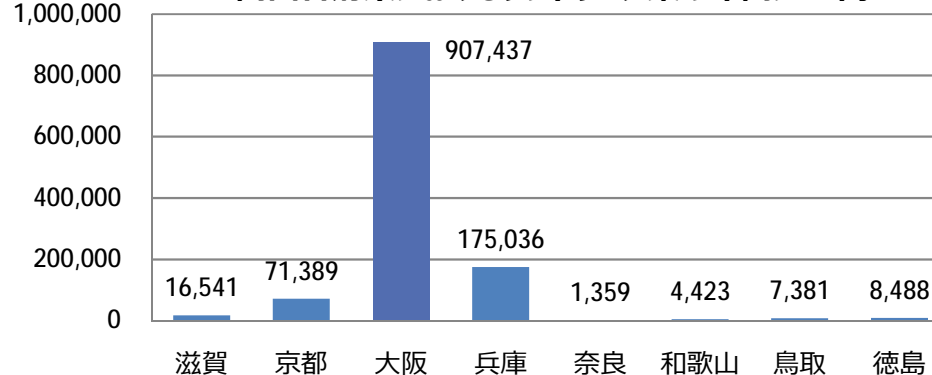
年間売上高



関西各府県におけるソフトウェア業の業務従事者数



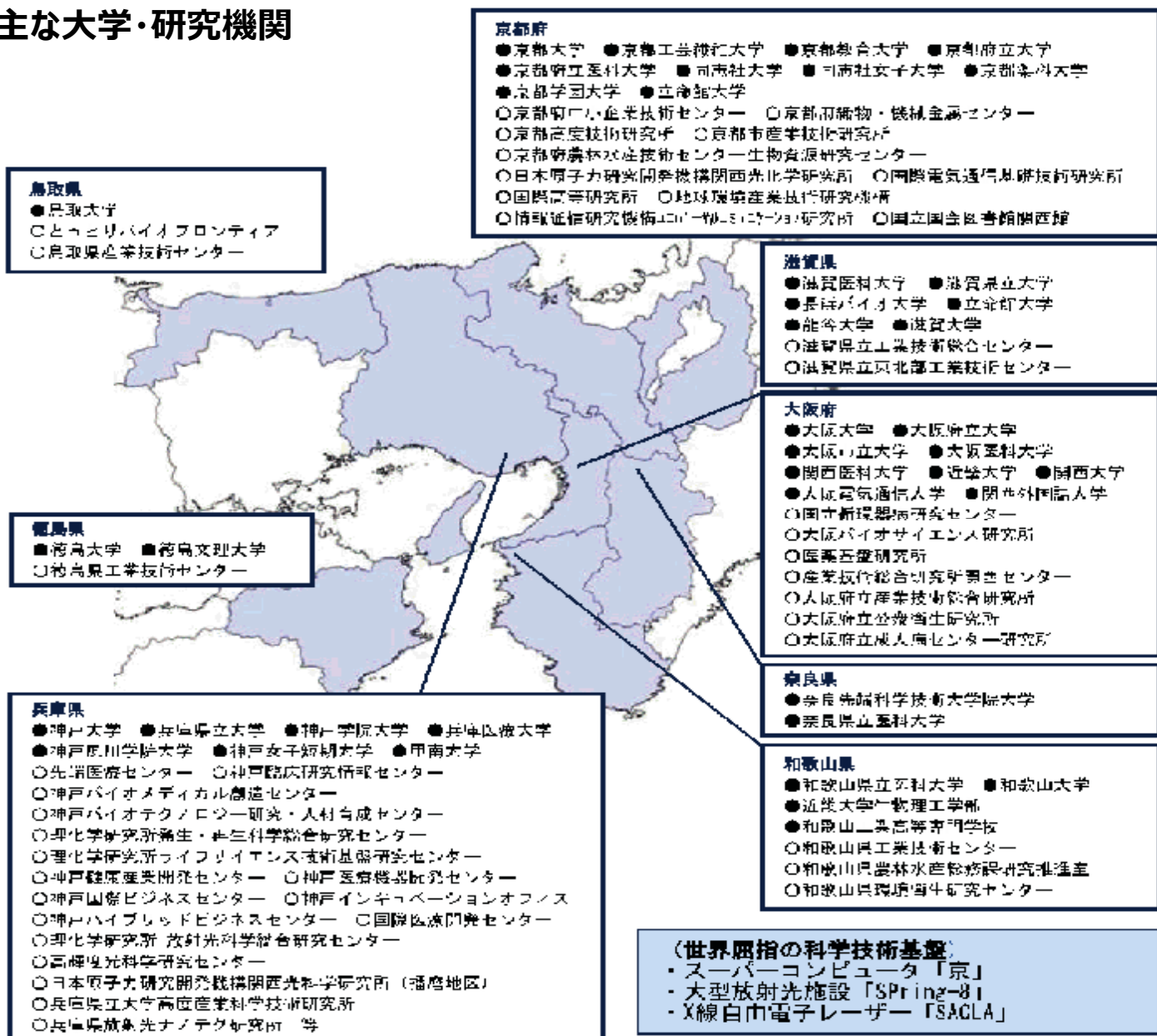
関西各府県におけるソフトウェア業の年間売上高



出典：経済産業省「特定サービス産業実態調査報告書〔平成27年（確報）〕」

# 大阪・関西の現状と課題 <大学・研究>

## ■ 関西の主な大学・研究機関



# 大阪・関西の現状と課題 <大学・研究>

## ■ 大学等における民間企業との共同研究・受託研究実績

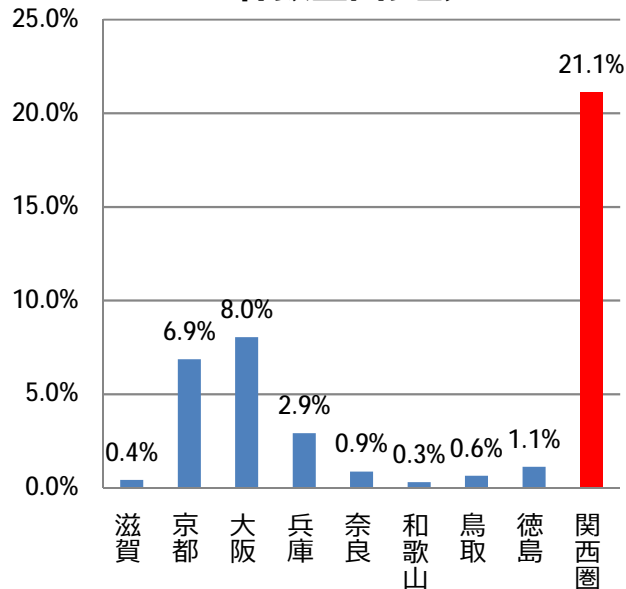
	共同研究		受託研究		合計		全国シェア	
	件数	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	受入額
滋賀	80	83,763	45	68,738	125	152,501	0.4%	0.2%
京都	1,537	5,322,096	542	861,990	2,079	6,184,086	6.9%	9.6%
大阪	1,758	5,049,426	678	975,713	2,436	6,025,139	8.0%	9.4%
兵庫	663	1,429,215	221	438,615	884	1,867,830	2.9%	2.9%
奈良	238	401,891	22	17,184	260	419,075	0.9%	0.7%
和歌山	50	51,686	37	155,336	87	207,022	0.3%	0.3%
鳥取	164	202,814	30	71,829	194	274,643	0.6%	0.4%
徳島	268	358,263	70	40,838	338	399,101	1.1%	0.6%
関西圏	4,758	12,899,154	1,645	2,630,243	6,403	15,529,397	21.1%	24.2%
東京圏	6,607	17,147,740	2,774	4,408,794	9,381	21,556,534	30.9%	33.6%
全国	23,021	52,557,301	7,319	11,563,210	30,340	64,120,511		

◇ 大学等と民間企業との共同・受託研究について  
関西圏は受入額ベースで  
全国の約24%のシェア

### 全国実施件数ランキング

機関名	件数	受入額 (千円)
東京大学	1,706	6,012,343
大阪大学	1,164	4,407,568
京都大学	1,150	4,935,615
東北大学	1,019	3,329,032
九州大学	812	2,352,163
名古屋大学	730	2,489,074
慶應義塾大学	685	2,828,888
東京工業大学	671	1,797,505
北海道大学	616	1,177,407
神戸大学	508	1,000,193
早稲田大学	476	1,242,850
広島大学	451	817,981
筑波大学	451	1,072,903
千葉大学	408	738,568
信州大学	398	653,816
山形大学	387	1,054,590
立命館大学	360	451,342
東京農工大学	358	524,877
近畿大学	321	321,724
岡山大学	309	492,667
徳島大学	308	367,529
金沢大学	301	473,592
大阪府立大学	298	369,757
岐阜大学	296	330,662
東京理科大学	292	624,809
日本大学	290	491,122
名古屋工業大学	282	642,867
三重大学	272	495,612
熊本大学	236	442,165
九州工業大学	233	369,653

件数全国シェア



受入額全国シェア

